事前準備

01 サンプルファイルの使い方

ここで学ぶこと

- サンプルファイル
- zipファイル
- 展開

ここでは、本書のサンプルファイルの使い方を解説します。各セクションで紹介している操作をひととおり終えた状態のファイルを収録しているので、ホームページがうまく表示されないときに自分の書いたHTML／CSSファイルと見比べてみましょう。

1 zipファイルを展開する

解説

エクスプローラー

エクスプローラーは、Windows11に標準で搭載されているファイル管理ソフトです。エクスプローラーを起動するには、タスクバーの［エクスプローラー］をクリックします。

重要用語

zipファイル

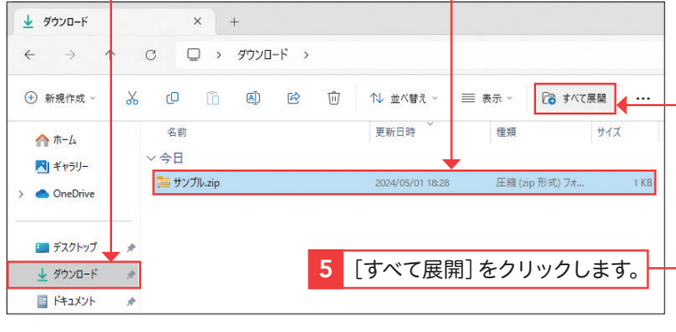
zipファイルは、圧縮ファイルの一種です。ファイルやフォルダーに対して圧縮と呼ばれる操作を行うことで、複数のファイルをまとめたり、ファイルサイズを小さくすることができます。

1 本書のサポートページ（https://gihyo.jp/book/2024/978-4-297-14357-2/support）を表示します。

2 サンプルファイルをクリックします。

3 ナビゲーションウィンドウの［ダウンロード］をクリックし、

4 ［サンプル.zip］をクリックして選択し、

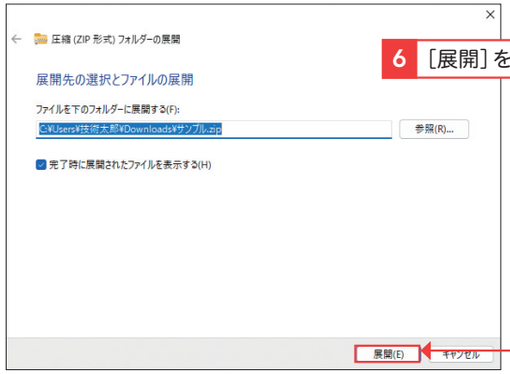


5 ［すべて展開］をクリックします。

重要用語

展開

展開とは、圧縮されたファイル・フォルダーを元の状態に戻すことです。zipファイルはエクスプローラーで展開できます。



6 ［展開］をクリックします。

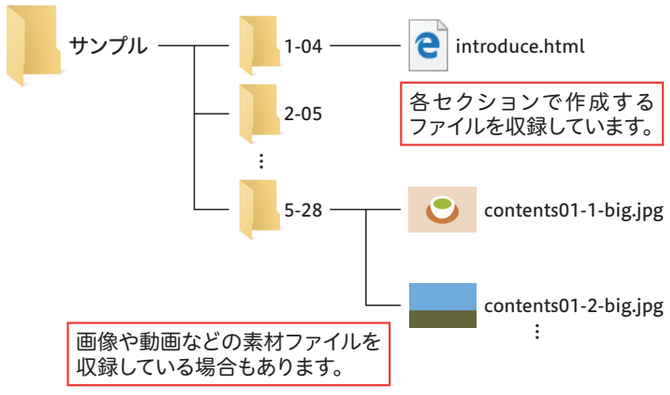
2 「サンプル」フォルダーのファイル構成

解説

「サンプル」フォルダーの内容

「サンプル」フォルダーには、本書で作成するホームページのサンプルファイルをセクションごとに収録しています。また、画像素材に関しては書籍内で使用しているものに似た画像を用意しています。必要に応じて「サンプル」フォルダーからコピーして、「ホームページ」フォルダー（P.28）に複製しましょう。

「サンプル」フォルダーのフォルダーおよびファイル構成



各セクションで作成するファイルを収録しています。

画像や動画などの素材ファイルを収録している場合もあります。

3 サンプルファイルを利用する

補足

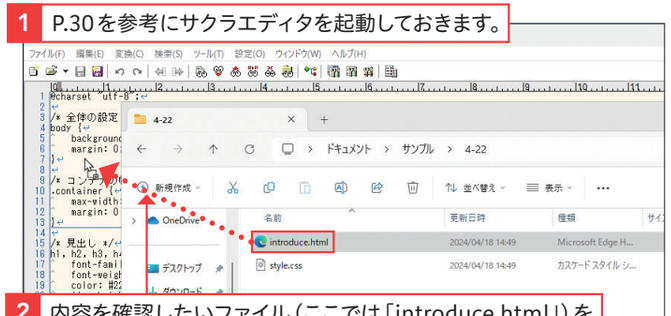
HTMLファイルの確認方法

HTMLファイルの確認方法には2種類あります。HTMLファイルに記述されている内容を確認・編集するときは、右の手順でテキストエディター上で開きます。HTMLファイルがWebブラウザーでどのように表示されるかを確認するときは、HTMLファイルをダブルクリックして、Webブラウザーで開きます。

●サンプルファイルを確認する

ここでは「サンプル」フォルダーの「4-22」フォルダーを開いています。

1 P.30を参考にサクラエディタを起動しておきます。



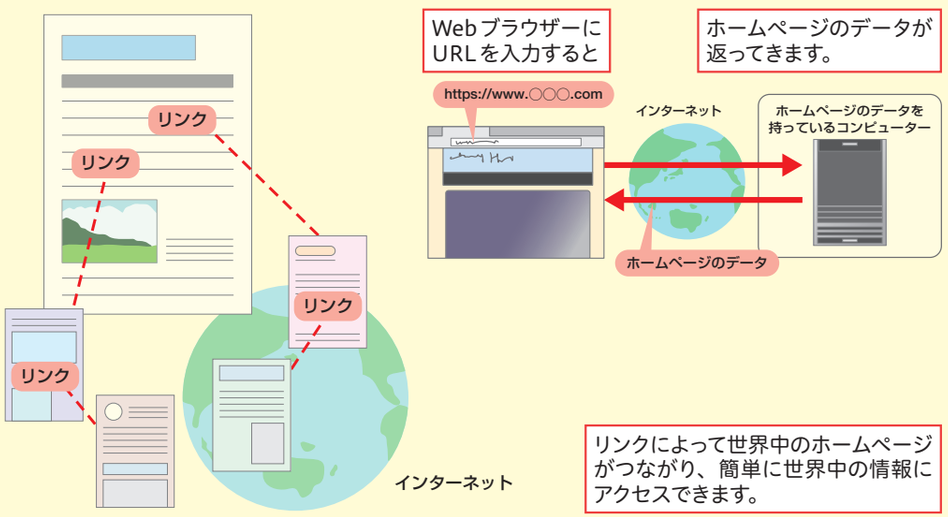
2 内容を確認したいファイル（ここでは「introduce.html」）をサクラエディタのウィンドウにドラッグします。

この章で学ぶこと

ホームページについて知ろう

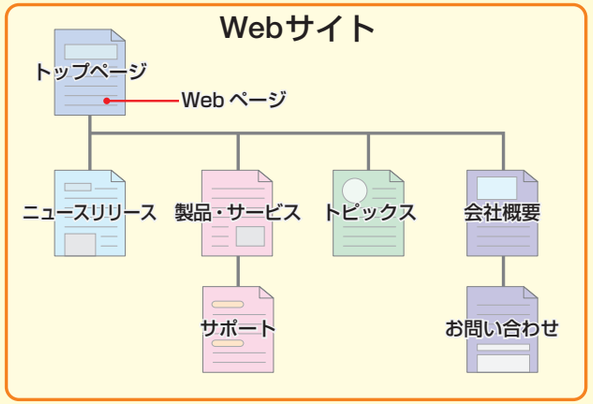
世界中のホームページはつながっている

ホームページを作成すると、誰でもインターネットを介して、世界中に文章や写真などを公開することができます。はじめに普段見ているホームページとはどのようなものなのか、その概要を解説します。なお、ここで記載しているホームページのしくみは、解説のために簡略化しているものです。
ホームページを表示するしくみ全体を指してWWW（World Wide Web）やWebと呼びます。Webはもともと英語で蜘蛛の巣を意味します。ホームページ同士がハイパーリンク（リンク）によってつながっている様を、世界中に広がる蜘蛛の巣にたとえて名づけられました。ホームページの大きな特徴の１つはハイパーリンクにあります。ハイパーリンクをたどって簡単に世界中のホームページ間を移動できます。たとえばGoogleやBingで検索すれば、日本中・世界中のホームページを見ることができます。
また、ホームページにはURL（Uniform Resource Locator）と呼ばれる住所にあたる名前がつけられています。WebブラウザーにURLを入力すると、インターネットを介してデータを持っているコンピューターにリクエストが届き、目的のホームページのデータが返ってきます。



ホームページとWebページ、Webサイト

正式な用語としては、Webブラウザーで表示する個々のページのことはWebページ、ひとまとまりのWebページの集まりのことをWebサイトと呼びます。ホームページという用語は、本来はWebブラウザーを起動したときに最初に表示されるWebページのことなのですが、日本では一般的にWebページ・Webサイトの代わりの言葉としても使われています。本書でも一般的な呼び方にならってホームページと呼びます。



||
ホームページ

ホームページの中には、下の表で紹介しているSNSや検索エンジンのように、特別な機能を持ったものがあります。これらのホームページでは、入力したキーワードに合わせて検索結果を表示するといった、見ている人に合わせて表示する内容を変えるプログラムが働いています。本書で作成するのは、よりシンプルなホームページなので、アップロードした文章のファイルや画像などが、そのまま表示されます。

種類	解説
ブログ	日記などを投稿しやすくするしくみを持ち、手軽に更新できます。
SNS	近況や写真を投稿して、友だちとコミュニケーションを取れます。 例：Facebook、Twitter
検索エンジン	キーワードにマッチするホームページを探して表示してくれます。 例：Google、Bing
オンラインショップ	インターネット上で書籍などのさまざまな商品を購入できます。 例：Amazon、楽天市場

Section

05 HTMLファイルをつくってみよう

ここで学ぶこと

- HTML
- DOCTYPE
- lang属性

テキストエディターの「サクラエディタ」を起動して、ホームページの基礎となるHTMLファイルを作成します。最初に入力するDOCTYPEとHTML要素は、この文書がHTMLファイルであることをWebブラウザーに伝えるための情報です。保存時の文字コードや拡張子に注意しましょう。

このセクションで学ぶ要素

```
<html lang="言語"></html>
```

言語：ja（日本語）、en（英語）など

解説

htmlはHTMLの最上位の要素（ルート要素）を表します。HTMLのすべての要素は、html要素の開始タグと閉じタグのあいだに書きます。

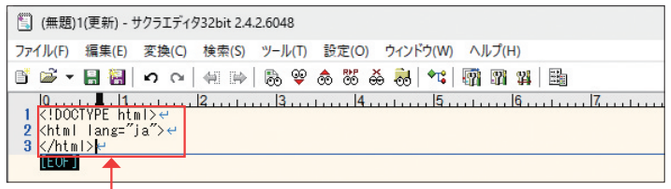
1 html要素を記述する

補足

サクラエディタの設定を済ませておく

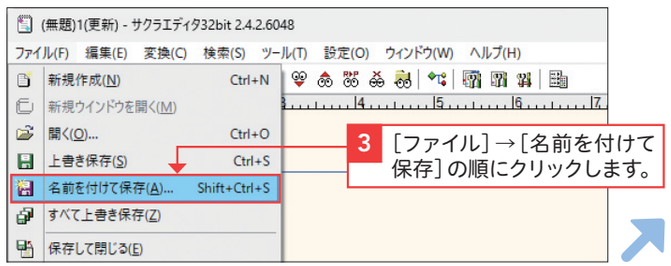
サクラエディタでHTMLを入力する前に、Sec.04で解説している設定を済ませて、HTMLやCSSを編集しやすいようにしましょう。本書では入力する内容を手順の横や下に記述しています。その中の「␣」という記号は半角スペースを、「^」はタブによるインデントを、「↵」は改行を表します。半角スペースで入力すべきところを全角のスペースで入力すると、正しく認識されないので気をつけましょう。また、HTML内の文章以外のタグなどはすべて半角で入力しましょう。

1 P.30を参考にサクラエディタを起動します。



2 下のように宣言と要素を入力します。

```
<!DOCTYPE␣html> ↵
<html␣lang="ja"> ↵
</html> ↵
```



3 ［ファイル］→［名前を付けて保存］の順にクリックします。

解説

DOCTYPE

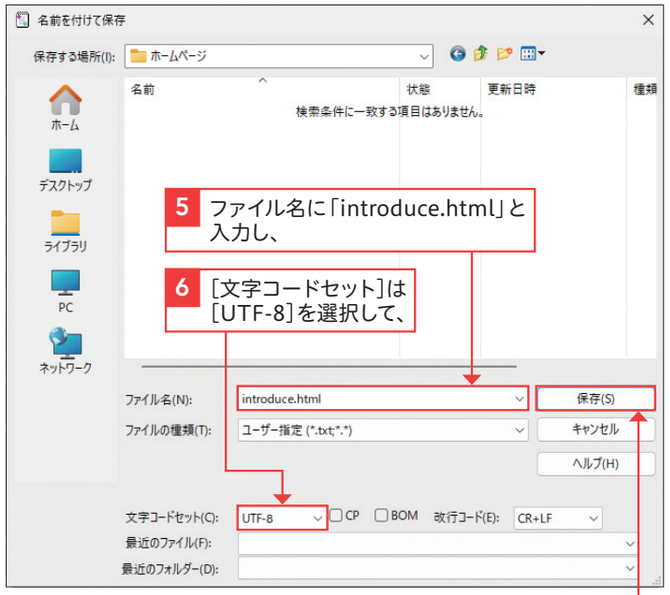
HTMLファイルの先頭に入力している<!DOCTYPE html>はこの文書の内容がHTMLであることを宣言する「文書型宣言」です。これを記述することで、Webブラウザーが HTMLファイルを認識するのを助けます。

重要用語

html要素とlang属性

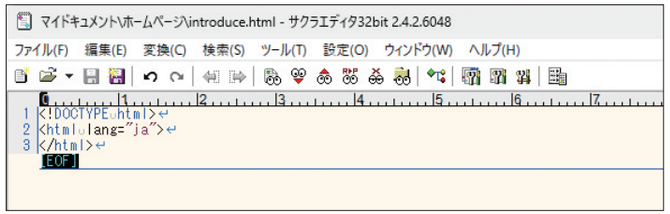
<html>～</html>はhtml要素といいます。HTMLではタグの中にタグを入れ子にして書いていきますが、その一番外側にはhtml要素があります。html要素のlang属性にはページで使っている言語を指定できます。日本語なら「ja」、英語なら「en」と指定します。この属性の設定が間違っていると、Webブラウザーの翻訳機能が不必要な場面で動作したりします。

4 Sec.03で作成した「ホームページ」フォルダーを選択します。



7 ［保存］をクリックします。

8 HTMLファイルが保存されました。



解説 **文字コードの種類**

文字コードとは、パソコンのデータが文字や記号とどのように対応しているのかを伝えるためのものです。英語圏ではおもにASCIIという文字コードが使われていましたが、扱える文字種が256文字以内と少ないため、日本や中国などの文字数が多い言語を使用する国では独自の文字コードが考案されました。この問題の解決の意味もあり、世界中のあらゆる文字を表現するためにUnicode（ユニコード）という文字コードが考案され、その普及も進んでいます。日本語のホームページでは、おもにUTF-8が使われています。

● **日本語に対応している文字コード**

文字コード	解説
Shift JIS	Windowsなどで古くから使われています。
UTF-8	Unicodeの一種で、1文字を基本8ビットで表します。ASCIIとの互換性があり、広く使われています。
UTF-16	Unicodeの一種で、1文字を基本16ビットで表します。
EUC-JP	おもにUNIXなどで使われています。

Section

14 リンクの張り方を学ぼう

ここで学ぶこと

- a
- href
- 属性

リンクを設定することにより、簡単に別のページに移動ができるようになります。リンクにはa要素を使用します。リンクしたい言葉や画像をa要素で囲むことで、リンクを設定することができます。実際にリンク先を設定する前に、まずはリンクの基本の形を作成してみましょう。

このセクションで学ぶ要素

<a>リンクを設定する文字や画像

ハイパーリンク（リンク）を示す

使用する属性

href="リンク先"

リンク先：URLもしくはファイル名・ファイルの保存場所

解説

リンクを表します。href属性でクリックまたはタップしたときの移動先を指定します。

1 リンクの基本構造を作成する

補足

リンクの文字数

リンクとして設定する語句の文字数は、少なすぎてもわかりにくく、多くてもテキストが長くなり間違えてクリックしてしまう可能性が高くなります。できる限り適切な文字数にしましょう。

●テキストエディターで編集

「introduce.html」を編集します。

```
10    <h1>茶園ぎょうについて</h1>
11    <p>静岡県静岡市のお茶農家茶園ぎょうです。私たちのお茶作りの様子をご覧ください。</p>
12
13
14    <h2>茶園ぎょうについて</h2>
15
16    <p>まずは茶園ぎょうのお茶をご覧ください！</p>
17
18    <p>茶園ぎょうのお茶は鮮やかな水色（すいしょく）と深いコクが特徴です。<br>
19    品評会でも高い評価をいただいています。</p>
20
21    <p>茶園ぎょうは静岡県静岡市の奥深い山の中にあります。南アルプスの豊かな土壌と地下水を生かして、お茶
22    この静岡市には、静岡茶の開祖である聖一国師が宋から持ち帰ったお茶を植えたとされる<b>「静岡茶発祥地の碑」
23
24
25    <h2>茶園ぎょうのこだわり</h2>
26
27    <p>現代では収穫機を使う農園も多いですが、茶園ぎょうは<strong>完全手摘み</strong>で収穫を行ってます
28    機械摘みに比べて効率は落ちますが、状態の良い新芽を目で確認できるため美味しいお茶になります。本物のお茶
29
30    <p>茶園ぎょうでは「蒸し」にもこだわっています。<br>
31    そもそもなぜお茶を蒸すのでしょうか？それは茶葉の発酵を止めるためです。この工程によって、紅茶や烏龍茶と
32    種類による製法の違いは<a href="">全国茶生産団体連合会のホームページ</a>に詳しい解説があります。
33    茶園ぎょうでは熟練の職人が茶葉の状態や気候などを確認し、最高の蒸し加減を追求しています。</p>
34
35
36    <h2>項目一覧</h2>
37    <ul>
38        <li>茶園ぎょうについて
39            <ol>
40                <li>茶園ぎょうのお茶</li>
```

1 「全国茶生産団体連合会のホームページ」の語句を囲み、a要素にします。

```
<a href="">全国茶生産団体連合会のホームページ</a>
```

2 をクリックして上書き保存します。

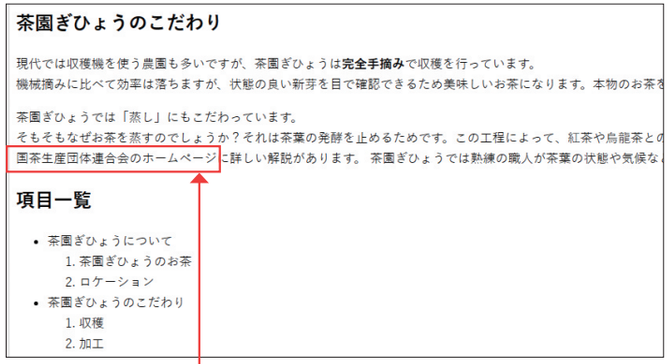
解説

href属性値を設定しなかったとき

リンク先の指定は次のセクションで行うため、現在は空白のままにしています。リンク先を指定しない場合は、クリックしてもほかのページへ遷移しません。

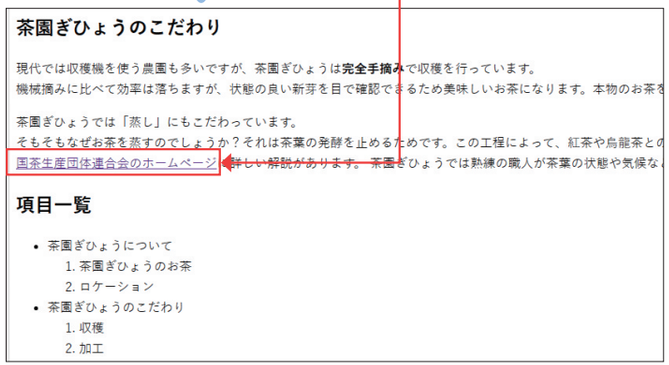
●Webブラウザーで確認

編集前はリンクが設定されていません。



1 Webブラウザーで をクリックしてHTMLファイルを再読み込みすると、

2 リンクが設定されました。



応用技　さまざまなリンク

ここでは、テキストにリンクを設定していますが、画像にリンクを設定することも可能です（P.174参照）。また、同じホームページ内のほかのページへのリンクを設定することもできます（P.178参照）。

Section

18 スタイルシートを使ってみよう

ここで学ぶこと

- @charset
- font-family
- link

スタイルシートでは、HTMLの要素に対してスタイルを指定します。基本的な書き方は、セレクタで適用する要素を選び、プロパティとして値を並べてスタイルを指定していくというものです。セレクタの指定方法がわかれば、理解はそれほど難しくありません。

このセクションで学ぶプロパティ

`font-family: フォント名;`

使用するフォントを指定する

解説

ホームページに表示させる文字のフォントの種類を定義します。フォント名には、游ゴシックやメイリオなど、フォント名を入力します。

このセクションで学ぶ要素

`<link>`

外部のファイルを関連づける

使用する属性

`rel="リンクタイプ"`

要素の範囲を示す

`href="リンク先"`

CSSファイルの保存先とファイル名

解説

ホームページ内の要素をひとかたまりの範囲として表すブロックレベル要素です。

記述例

```
<link rel="stylesheet" href="style.css" >
```

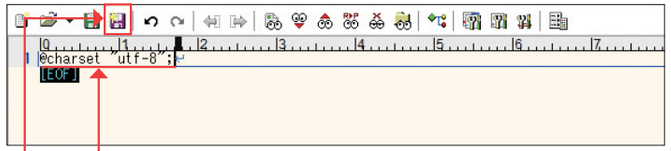
1 見出しのフォントを指定する

解説

「@charset」は先頭に入力する

「@charset」は、CSSファイルの文字コードを定義します。必ずCSSファイルの先頭に入力しましょう。これより前に文字が入っていると、指定したスタイルが反映されないことがあります。

●テキストエディターで編集



1 ファイルを新規作成し、1行目に下のルールを入力します。

```
@charset␣"utf-8";
```

2 をクリックします。

ヒント

CSSファイルでのコメント

CSSファイルでは、「/*」「*/」で囲んだ範囲がコメントとなります。囲まれた部分はブラウザーに表示されません。なお、「*/」の直前に全角文字が入っていると、後ろのルールセットが反映されないことがあるので、コメントを1行で入れる場合は「*/」の前に必ず半角スペースを入れるようにしましょう。

ヒント

フォント名は複数指定する

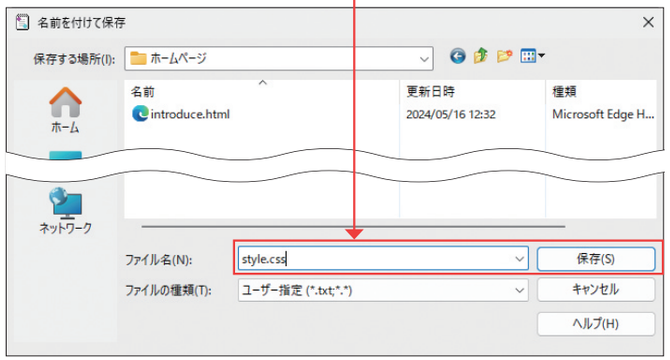
指定したフォントが、ホームページを閲覧する人のパソコンにないと、意図したとおりに文字が表示されません。フォント名は複数指定しておくとよいでしょう。優先度が高いものから順に、左から右へ記述します。

注意

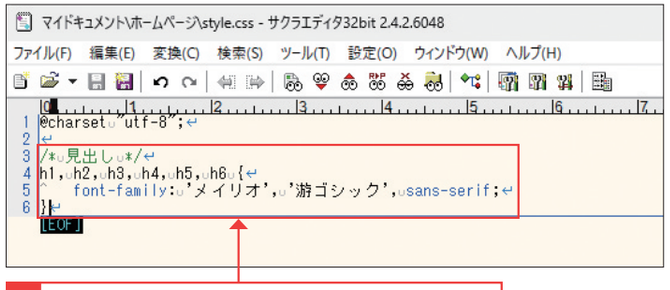
日本語フォント名を入力するときの注意

「メイリオ」のように名前に日本語が含まれるフォントは、Webブラウザーの種類によって認識されないことがあります。アルファベット表記（メイリオならMeiryo）も併記しておくと、指定したフォントが確実に表示されます。また、「ＭＳ Ｐゴシック」のように名前に全角文字や半角スペースが含まれるときは、フォント名を「'」で囲みます。

3 任意のファイル名（ここでは「style.css」）を入力して、［保存］をクリックし、ファイルを保存します。



4 エディター上の文字に色がつきます。



5 2行目で Enter キーを押して改行し、3行目から下のようにコメントとルールセットを入力します。

```
/*␣見出し␣*/
h1,␣h2,␣h3,␣h4,␣h5,␣h6␣{
^   font-family:␣'メイリオ',␣'游ゴシック',␣sans-serif;
}
```

6 をクリックして上書き保存します。

解説 **フォントカテゴリは5種類**

フォント名の最後には、指定したどのフォントも認識されないときのために、大まかなカテゴリの指定をするのが、ホームページ制作では一般的です。フォントのカテゴリには以下の5種類がありますが、ホームページのフォントとしては、オーソドックスな「serif」もしくは「sans-serif」がおすすめです。

カテゴリ名	解説
serif	明朝体のように、フォントの端に飾り（セリフ）がついたフォントです。
sans-serif	ゴシック体のように、フォントの端に飾りがないフォントです。
cursiv	筆記体風のフォントです。
fantasy	装飾的なフォントです。
monospace	等幅のフォントです。

Section

28 ホームページ用に写真サイズを調整しよう

ここで学ぶこと

- ペイント
- サイズ変更
- ピクセル

デジカメやスマホで撮影した写真をそのままホームページに掲載すると、サイズが大きすぎて表示に時間がかかるなど、いくつか問題があります。ホームページに掲載する写真は、あらかじめ表示しやすいサイズに縮小しておきましょう。ここでは「ペイント」アプリを利用した縮小方法について解説します。

① 「ペイント」で画像を縮小する

解説

「ペイント」とは

「ペイント」はWindows 11に標準で付属している画像編集ソフトです。画面に線を引いたり色を塗ったりして、文字や図形、絵を描画できます。描画のほかに、画像の拡大／縮小や切り抜きなどの編集機能を備えています。

「サンプル」フォルダーの「5-28」フォルダーにある画像データを編集します。

1 P.30を参考に、スタート画面から「ペイント」をクリックして起動します。

2 ［ファイル］→［開く］をクリックします。

3 縮小したい画像（ここでは「contents01-1-big.jpg」を利用しています）をクリックし、

4 ［開く］をクリックします。

5 ボタンをクリックします。

解説

サイズはピクセルで指定する

ホームページに表示する画像のサイズがバラバラだと、レイアウトが崩れて見づらくなります。サイズ変更をする際はピクセル数を指定して、横幅をできるだけ揃えておくといいでしょう。HTMLやCSSで画像の表示サイズを指定する方法もあります（P.109上段の解説参照）。

補足

保存可能な画像ファイル形式

ペイントでは、PNG、JPEG、BMP、GIF、TIFF、HEICなどの画像ファイル形式で保存できます。本書で利用するのは、PNG、JPEGの2種類です。

ヒント

画像の縦横比は固定する

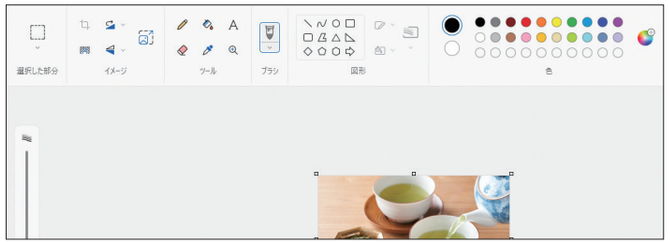
手順**7**で数値を入力すると、入力した数値に合わせて高さの数値が自動的に入力されます。手順**7**の前で🔗をクリックしていると、画像の横幅だけが縮小され、縦に伸びた画像になってしまうので注意が必要です。

6 ［ピクセル］をクリックし、

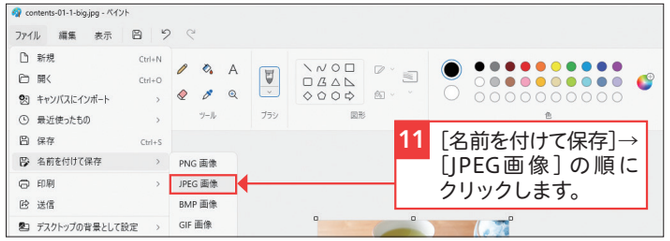
7 「水平」の欄に「300」と入力し、

8 ［OK］をクリックします。

9 画像が縮小されます。



10 ［ファイル］をクリックし、



11 ［名前を付けて保存］→［JPEG画像］の順にクリックします。

12 保存場所に「image」フォルダーを指定し、任意のファイル名（ここでは「contents01-1.jpg」）を入力して、［保存］をクリックすると、縮小した画像が保存されます。

13 ほかの3つのファイル（「contents01-2-big.jpg」「contents02-1-big.jpg」「contents02-2-big.jpg」）も、同様の手順で縮小して保存します。ファイル名はそれぞれ、「contents01-2.jpg」「contents02-1.jpg」「contents02-2.jpg」とします。

Section

33 表の見出し行をつくろう

ここで学ぶこと

- thead
- th
- tfoot

表のセルが具体的に何を表しているか、よりわかりやすくするためには、表に見出し行を追加します。見出し行を増やすには、table要素の中にthead要素を入れ、その中にtr要素を入れたあと、th要素を入れます。thead要素は表の見出し部分、th 要素は見出しの内容を指します。

このセクションで学ぶ要素

<thead>表の見出し</thead>

表の見出し（ヘッダー）を表す

<th>表の見出しセルの内容</th>

表の見出しセルを表す

解説

<thead>は表の見出しの要素です。この中に見出しとなる行を記述します。<th>は<td>と似ていますが、<th>では見出しのセル要素を示します。

1 表の見出し行を追加する

重要用語

thead要素

thead 要素は表示の見出しとなる部分を記述するための要素です。似ている要素に、表のフッター（下部）を記述するtfoot要素があります。表の合計を表示する行をつけたい場合などに使います。

● HTMLソース

```
<tfoot>
    <tr>
        <td>合計</td>
        <td>22</td>
    </tr>
</tfoot>
```

● Webブラウザー

名前	個数
りんご	10
みかん	12
合計	22

●テキストエディターで編集

「introduce.html」を編集します。

1 69行目末尾にカーソルを合わせ、Enterキーを押して改行し、

```
67    <h3>茶園ぎひょうのラインナップ</h3>
68
69    <table>
70        <thead>
71            <tr>
72            </tr>
73        </thead>
74        <tbody>
75            <tr>
76                <td>特撰一番茶</td>
77                <td>3200円（税抜）</td>
78                <td>100g</td>
79            </tr>
80            <tr>
81                <td>上級一番茶</td>
82                <td>1200円（税抜）</td>
83                <td>150g</td>
84            </tr>
85            <tr>
86                <td>夏摘み銘茶</td>
```

2 70行目からTabキーを押してインデントを揃え、右のように要素を入力します。

```
<thead>
    <tr>
    </tr>
</thead>
```


重要用語

ヘッダーセルとなるth要素

thは「Table Header」の略で、セルの内容が「見出し」となるヘッダーセルを作成します。td要素と異なり、多くの場合は太字の中央揃えで表示されます。この設定はCSSで変更可能です。

補足

見出し列にもth要素は使える

ここでは「特撰一番茶」「上級一番茶」「夏摘み銘茶」などの見出し列をtd 要素で記述していますが、th要素で記述することも可能です。th要素の場合、下の表ではデフォルトの状態である太字の中央揃えで表示されています。必要に応じてCSSで設定を変更することができます。

茶園ぎひょうのラインナップ

商品名	値段	内容量（缶入り）
特撰一番茶	3200円（税抜）	100g
上級一番茶	1200円（税抜）	150g
夏摘み銘茶	980円（税抜）	150g
玄米茶	880円（税抜）	150g

3 71行目の末尾にカーソルを合わせ、Enterキーを押して改行し、

```
66
67    <h3>茶園ぎひょうのラインナップ</h3>
68
69    <table>
70        <thead>
71            <tr>
72                <th>商品名</th>
73                <th>値段</th>
74                <th>内容量（缶入り）</th>
75            </tr>
76        </thead>
77        <tbody>
78            <tr>
79                <td>特撰一番茶</td>
80                <td>3200円（税抜）</td>
81                <td>100g</td>
82            </tr>
83            <tr>
84                <td>上級一番茶</td>
85                <td>1200円（税抜）</td>
86                <td>150g</td>
87            </tr>
88            <tr>
89                <td>夏摘み銘茶</td>
90                <td>980円（税抜）</td>
91                <td>150g</td>
92            </tr>
93            <tr>
94                <td>玄米茶</td>
95                <td>880円（税抜）</td>
96                <td>150g</td>
```

4 72行目からTabキーを押してインデントを揃え、下のように要素を入力します。

```
<th>商品名</th>
<th>値段</th>
<th>内容量（缶入り）</th>
```

5 をクリックして上書き保存します。

●Webブラウザーで確認

1 Webブラウザーで をクリックしてHTMLファイルを再読み込みすると、

茶園ぎひょうのラインナップ

特撰一番茶 3200円（税抜） 100g
上級一番茶 1200円（税抜） 150g
夏摘み銘茶 980円（税抜） 150g
玄米茶 880円（税抜） 150g

2 表の中に見出しが表示されました。

茶園ぎひょうのラインナップ

商品名	値段	内容量（缶入り）
特撰一番茶	3200円（税抜）	100g
上級一番茶	1200円（税抜）	150g
夏摘み銘茶	980円（税抜）	150g
玄米茶	880円（税抜）	150g

Section

38 行間を開けて文章を読みやすくしよう

ここで学ぶこと

- 行間
- line-height
- 相対指定

文章の多いホームページでは、行間を調整して、文章を読みやすくしましょう。スタイルシートでline-heightプロパティを使うことにより、文字のサイズに応じて自動で行間を調整するよう設定したり、数値を指定して行間を固定したりできます。

このセクションで学ぶプロパティ

`line-height: 値;`

行の高さを指定する

解説

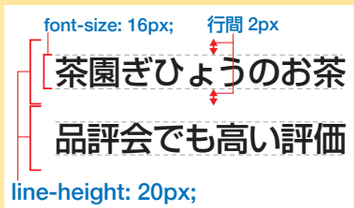
文章の多いホームページでは、行間を調整して、文章を読みやすくしましょう。スタイルシートでline-heightプロパティを使うことにより、文字のサイズに応じて自動で行間を調整するよう設定したり、数値を指定して行間を固定したりできます。

1 行送りを指定する

ヒント

「行の高さ」の意味

line-heightプロパティは行の高さを指定するプロパティです。フォントサイズに上下の行間を足した値が「行の高さ」となります。たとえば、p要素のfont-sizeプロパティの値が「16px」で上下に行間を2pxずつ空けたい場合、line-heightプロパティの値は「20px」となります。



●テキストエディターで編集

「style.css」を編集します。

1 12行目末尾にカーソルを合わせ、Enterキーを押して改行し、

```
 7 ↵
 8 /*␣見出し␣*/↵
 9 h1,␣h2,␣h3,␣h4,␣h5,␣h6␣{↵
10 ^   font-family:␣'メイリオ',␣'游ゴシック',␣sans-serif;↵
11 ^   font-weight:␣normal;↵
12 ^   color:␣#222;↵
13 ^   line-height:␣1.1;↵
14 }↵
15 ↵
```

2 13行目で下のように宣言を入力します。

```
line-height␣1.1;
```

3 32行目末尾にカーソルを合わせ、Enterキーを押して改行し、

```
33 ↵
34 /*␣本文␣*/↵
35 p␣{↵
36 ^   line-height:␣1.7;↵
37 }↵
38 ↵
39 /*␣ページタイトル部分␣*/↵
40 .lead␣{↵
41 ^   color:␣gray;↵
42 ^   font-size:␣20px;↵
43 }↵
44 ↵
```

補足

行の高さの値

line-heightプロパティの値の指定方法には、フォントの大きさを基準とする相対指定と、任意の長さを指定する絶対値指定があります。たとえば手順2で入力した「line-height:1.1;」は、対象要素のフォントサイズを基準に1.1倍の高さという意味で、相対指定になります。

ヒント

値の指定について

CSSのプロパティの中には、親要素で指定したスタイルが子要素にも引き継がれるものもあります。line-heightプロパティもその1つです。そのため、安易に絶対値指定を用いると、親要素と子要素のフォントサイズが違うときに意図と異なる行の高さが設定されてしまうことがあります。また、フォントサイズが変わったときも、相対指定(数値指定)のほうが対応しやすくなります。

```
line-height␣20px;
```

茶園ぎひょうは静岡県静岡市の奥深い山の中にあります。南アル
ます。 この静岡市には、静岡茶の開祖である聖一国師が宋から持
す。みなさんも是非一度足を運んでみてください。

フォントのサイズを変更すると、

茶園ぎひょうは静岡県静岡市の奥深い山の中に
生かして、お茶づくりに向き合っています。 こ
宋から持ち帰ったお茶を植えたとされる「静岡
度足を運んでみてください。

畑の後ろに見えるのが南アルプス山脈です。

行間が狭くなり、読みにくくなります。

4 34行目から下のようにコメントとルールセットを入力します。

```
/*␣本文␣*/↵
p␣{↵
^   line-height:␣1.7;↵
}
```

5 42行目末尾にカーソルを合わせ、Enterキーを押して改行し、

```
38 ↵
39 /*␣ページタイトル部分␣*/↵
40 .lead␣{↵
41 ^   color:␣gray;↵
42 ^   font-size:␣20px;↵
43 ^   line-height:␣1;↵
44 }↵
45 ↵
```

6 43行目で下のように宣言を入力します。

```
line-height:␣1;
```

7 💾をクリックして上書き保存します。

●Webブラウザーで確認

1 Webブラウザーで🔄をクリックしてHTMLファイルを再読み込みすると、

2 タイトルと段落の行間が調整されました。

Section

53 ホームページを更新しよう

ここで学ぶこと

- 更新
- FTP
- ディレクトリの比較

やっぱりあの写真を別の1枚に差し替えたい、新しい旅行の記録を書き足したい。一度公開したあとでも、こうした変更が容易にできるのがホームページの魅力です。更新用のファイルをパソコンで用意したら、あとはFTPクライアントソフトで更新したファイルをアップロードするだけで、更新が完了します。

① パソコンとサーバーのデータを同時に表示させる

解説

FTPクライアントソフトの外観

どのファイルを修正したかはファイルの更新日時で確認できますが、ファイル数が多いと修正したすべてのファイルを見つけるのに手間がかかります。ここではFTPクライアントソフトのパネルを分割し、パソコンとサーバーのデータを同時に表示できるように設定を変更します。

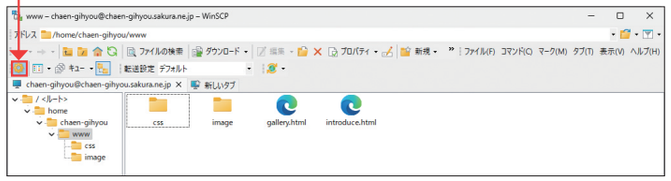
ヒント

サーバーのファイルを削除／ダウンロードする

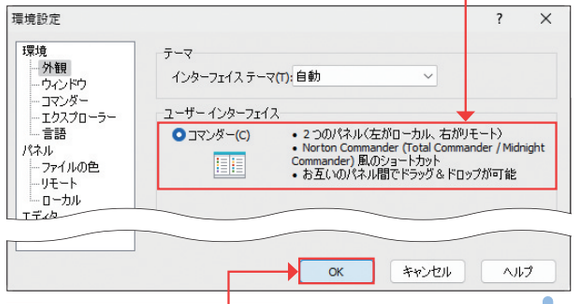
WinSCPでは、アップロードしたファイルを削除したり、ダウンロードしたりできます。間違って不要なファイルをアップロードしたときは、不要なファイルをクリックして選択し、✕をクリックして削除します。また、パソコン内のデータを間違って消去してしまったときは、サーバーのファイルを選択して ダウンロード をクリックすると、サーバーからファイルをダウンロードできます。

P.188を参考にWinSCPを起動し、サーバーにログインします。

1 をクリックし、「環境設定」を開きます。

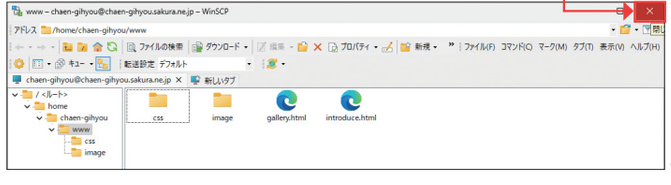


2 ［環境］メニューの［外観］をクリックして、［コマンダー］をクリックしてオンにし、



3 ［OK］をクリックします。

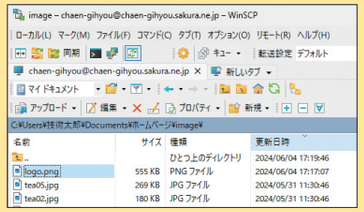
4 下の画面に戻ったら、✕ をクリックして一度WinSCPを終了します。



解説

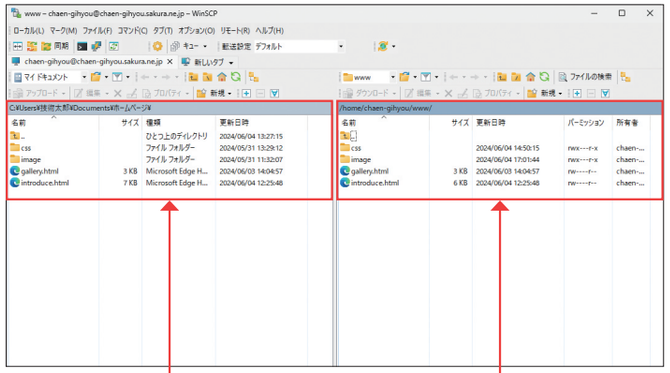
ファイルを並べ替える

ファイルを更新日時順に並べ替えると、最新のファイルが上に表示されるので、どのファイルを修正したかがわかりやすくなります。



クリックして並べ替えます。

5 WinSCPを再度起動してログインすると、パネルが2つ表示された外観で表示されます。



② ロゴ画像を更新する

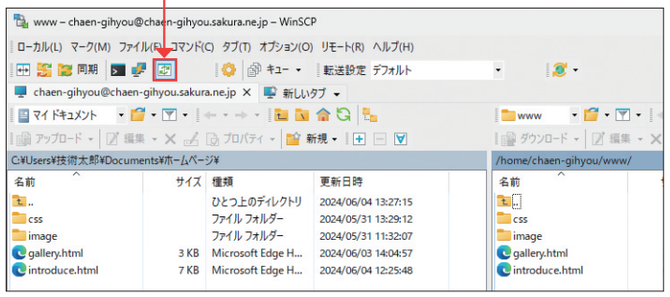
応用技

ディレクトリの同期移動

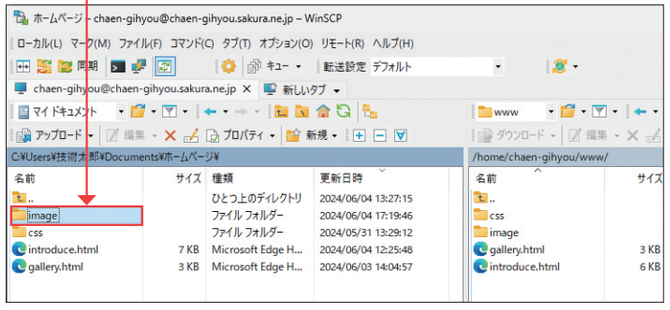
ディレクトリの同期移動をオンにしておくと、片方の画面で別の階層に移動した際に、もう片方の画面も同じ階層へ自動的に移動します。2つの画面で常に同じ階層が表示されるので、ファイルの内容をひと目で比較できて便利です。

「サンプル」フォルダーの「9-53」→「image」フォルダーから差し替え用のロゴ画像（logo.png）をコピーし、「ホームページ」フォルダーの「image」フォルダーに移動して貼りつけます（既存のファイルを上書きします）。

1 をクリックし、ディレクトリの同期移動をオンにします。



2 左側の画面で［image］をダブルクリックして開きます。



Section

55 スマートフォンでもきれいに表示しよう

ここで学ぶこと

- スマートフォン
- viewport
- メディアクエリ

現在のホームページは、スマートフォンのWebブラウザーでの表示を意識してつくられることが多くなってきています。大半のホームページはスマートフォンでもそのまま表示できますが、画面のサイズなどパソコンと違うところも多いので、見やすくするための工夫をするとよいでしょう。

1 viewportの設定を追加する

重要用語

viewport

viewport(ビューポート)はスマートフォンやタブレットでの表示を制御する設定で、meta要素のname属性で指定します。特に指定がない場合、スマートフォンはパソコンでの表示をそのまま縮小するため、かなり小さくなってしまいます。これを変更するのがviewportの設定です。viewportを利用するには、meta要素のname属性に「viewport」を指定し、content属性に各設定値を「設定名=値」の形式で記述します。

注意

すべてのHTMLファイルに設定が必要

viewportの設定はホームページ内のすべてのHTMLファイルに対して記述する必要があります。あとから設定すると忘れがちなので、スマートフォンでも見てもらう前提なら、初期段階でviewportの設定を記述しておくことをおすすめします。

「introduce.html」を編集します。

1 4行目の末尾にカーソルを合わせて、Enterキーを押して改行し、

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja">
3     <head>
4         <meta charset="utf-8">
5
6         <!-- スマートフォン用の設定 -->
7         <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1">
```

2 4行目で下のようにコメントと要素を入力し、をクリックして上書き保存します。

```
<!-- スマートフォン用の設定 -->
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1">
```

3 入力した6〜7行目をドラッグして選択し、Ctrl+Cキーを押してコピーします。

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja">
3     <head>
4         <meta charset="utf-8">
5
6         <!-- スマートフォン用の設定 -->
7         <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1">
```

「gallery.html」を編集します。

4 4行目の末尾にカーソルを合わせてEnterキーを押して改行し、Ctrl+Vキーを押して貼りつけ、

```
1 <!DOCTYPE html>
2 <html lang="ja">
3     <head>
4         <meta charset="utf-8">
5
6         <!-- スマートフォン用の設定 -->
7         <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1">
```

5 Back spaceキーを押してインデントを整え、をクリックして上書き保存します。

2 スマートフォン用のスタイルを追加する

解説

viewportのcontent設定

前ページではviewportのwidthにdevice-width、initial-scaleに1を設定しています。widthはviewportの幅を設定するためのもので、device-widthと指定することで表示する端末に合わせた幅を設定できます。initial-scaleはデフォルトの拡大縮小率を設定するためのもので、1に設定すると100%で表示されます。これらの設定値は、ほとんどすべてのスマートフォンに適しています。

重要用語

メディアクエリ

CSSには表示するデバイスの解像度などによって適用するスタイルを切り替える機能があり、これを「メディアクエリ」といいます。メディアクエリを利用する際には、@mediaの後ろに条件を記述し、{}の中に条件を満たした時に適用するスタイルを記述します。ここではmax-widthに480pxを指定しているので、画面幅が480px以下の時には{}内のスタイルが適用されます。

解説

幅を狭めたときに1段組みにする

style-sidebar.cssでは段組みのmain-areaクラスに対して「flex-direction: column;」を設定しています。flex-directionはフレックスアイテムの並び方を指定するプロパティで、columnを指定することで縦並びにしています。また、「margin:0 10px;」を指定して、左右に10pxずつ余白を設定しています。

テキストエディターで編集

「style-sidebar.css」を編集します。

1 36行目の末尾にカーソルを合わせて、Enterキーを押して改行し、

```
33
34 .sidebar-list {
35     list-style-type: square;
36 }
37
38 @media screen and (max-width: 480px) {
39
40 }
   [EOF]
```

2 38行目で下のようにメディアクエリを入力します。

```
@media screen and (max-width: 480px) {
(改行)
}
```

3 39行目でTabキーを押してインデントを整え、

```
34 .sidebar-list {
35     list-style-type: square;
36 }
37
38 @media screen and (max-width: 480px) {
39     .wrapper {
40         flex-direction: column;
41         margin: 0 10px;
42     }
43 }
   [EOF]
```

4 39行目で下のように宣言を入力します。

```
wrapper {
^   flex-direction: column;
^   margin: 0 10px;
}
```

5 をクリックして上書き保存します。

「style.css」を編集します。

6 139行目の末尾にカーソルを合わせて、Enterキーを押して改行し、

```
136 footer {
137     text-align: center;
138     margin: 40px 0 20px;
139 }
140
141 @media screen and (max-width: 480px) {
142
143 }
    [EOF]
```

7 141行目で下のようにメディアクエリを入力します。

```
@media screen and (max-width: 480px) {
(改行)
}
```